



2021-2022 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：野尻 勝規 ● 副会長：元木 誠二 ● 幹事：鈴木 市郎
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランテア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス Sharir Rotary@peach.plala.or.jp

第 2867 回例会 2022 年 6 月 29 日(水)

発行：会報・広報・雑誌委員会

点鐘：野尻 勝規 会長

司会：浦田 順子 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～樽見親睦委員長

・第 2780 地区 神奈川県寒川 RC 椎谷敏行様、令夫人椎谷令子様

2. ローターソング ～それこそロータリー(唱和なし)

3. 会長の時間 ～野尻会長

・皆さん、こんばんは。

まずは、寒川 RC 椎谷敏行様、令夫人(令子様)におかれましては、ようこそ知床斜里の地にお越しいただきました。本日は年度最終例会ということで懇親会もございますので、行き届かない点などあるかとは存じますが、最後まで楽しんでいただければと思います。後ほど椎谷様から一言いただければと思います。よろしく願いいたします。

さて、本日は最終例会ということで、私の「会長の時間」も本日最後であります。

以前、「会長の時間とは」という話をさせていただきました。「会長の時間」は、会長が唯一の実行者で、会員の士気を高めるためにも、またクラブの活性化のためにも、会長のメッセージを伝える場が「会長の時間」なんだ、というお話をさせていただきました。

私もこの「会長の時間」に何を話そうか、というのが一年間通しての課題であり、使命だと思って一年を過ごしました。私の場合は、例会が終わったその日から、次の例会に向けて「会長の時間」の原稿を考える訳ですが、職場のパソコンに向かってざっくりと大筋の伝えたい事柄だけを並べてパソコンに保存し、仕事の合間に読み返しながら一週間かけて自分の言葉として頭に入れるという作業が、この一年で日課みたいになってしまいました。

ですから「会長の時間」が今日をもって最後、というのが肩の荷が降りてほっとした半面、明日からそれが無いと思うと張り合いがなくなると言いますか、少し寂しさも感じています。自分の仕事時間の合間でロータリーの原稿であったり、資料であったり、時にはパワーポイントや手作りのフリップを作成したりも楽しかったですし、仕事の合間の「息抜き」みたいな感じでした。

今回、年次活動の報告書を作成するのに、これまでの会長の時間の原稿も読み返したりしたんですが、一番最初の「会長の時間」って何の話をしたんだっけな、と思い原稿を読み返してみたら、松田パストガバナーが年度前の「会長幹事研修会」の中でおっしゃった言葉について触れていまして、松田パストガバナーは、「会長としての一年は大変な一年です。大変で嫌だなと思って過ごす一年よりも、どうせ大変な一年なんだから、楽しく過ごす一年にしたらいいい」という言葉でした。まさにその言葉通り、今振り返ると、会長職は大変でしたが、それ以上に楽しかったという想いの方が強いです。

後ほど、年次活動報告の中で、思いの丈を述べさせていただきます。

会員の皆さんには一年間お付き合いいただきましたことに感謝申し上げ、最後の「会長の時間」とさせていただきます。

4. 幹事報告 ～なし

5. 委員会、その他の報告 ～なし



◆ビジター 椎谷敏行様ご挨拶◆

皆さん、こんばんは。

野尻会長はじめ会員の皆さん、本当に貴重な例会の時間にお邪魔しましてこの席に立たさせていただきありがとうございます。

私は、5日間かけて神奈川からここまで来ました。というのは、私ももう70歳すぎて2年目になります。

70歳から女房と一か月の夏休みをとって自分たちの好きな所に旅行しようよ・・・ということで始まった旅でございます。今回、このように斜里ロータリークラブの例会に参加させていただきまして本当にありがとうございます。

私は、ロータリークラブに入って28年になります。旅行先でもこのようにメーキャップすることをいつも心がけて参りまして、地区の外に出る時にはバナーを持ってその地のロータリークラブの例会に参加させていただいておりま

す。今日は、最後まで見させていただきますのでよろしく願いいたします。ありがとうございました。



◆林川会員送別式挨拶◆

皆さん、改めましてお晩でした。

“お久しぶりです”としか言いようがないんですが、本当に2年ぶりくらいにこちらに寄せてもらいました。只今、野尻会長よりお話しいただいたのですが、私は福祉事業をしております、先般職場にもコロナの患者が出ましたし、施設内にも少し出

てしまうということもありまして、ずっとコロナとの闘いをやっておりました。その中でやはり私がロータリーの例会に出るということは、職員にとってはたいへんなことでしたので例会出席を控えさせていただきました。

ちょうど1年半前に「斜里福祉会」の常務理事に就任しまして、なおさら出られなくなってしまった訳です。

という事情の中で、野尻会長に“もう退会するしかない”と申し上げ、このような運びになりました。

息子もローターアクトでお世話になり、私もロータリーでずいぶん勉強させていただきました。

斜里町にはまだ当面いるつもりですので、街中でお会いした時には声をかけていただければと思います。

これまで本当にありがとうございました。



6. 本日のプログラム ～野尻会長

◆会長・幹事活動報告

●鈴木幹事～皆さん、お晩でございます。

野尻会長の右腕、左腕になりながら何とか一年間やって行こうと思っていたのですが、なんせ私は「アナログ人間」なものですから、今考えると「本当に会長のサポート出来ていたのかな？」

「会長が幹事の分までやってくれているナ」と思うことが多々ありました。会長にはずいぶんご迷惑をおかけしたと思いますのでこの場でお詫びしたいと思います。

また、森田副幹事には、色々な文書の作成や会員宛てのメール配信などをさせていただきました。本当に感謝しております。また、普段メールなど見慣れない年配会員もいらっしゃいますので、そこには「紙出し」で私が持って行きました。「こういうプログラムもありますので何とか出席して下さい」というようなお願いも兼ねてお伺いしました。私の出来ることは「足で稼ぐ」ことだと思い走り回って来ました。

野尻年度は、「出席率を90%台まで伸ばしたいナ」という思いで走って来た一年でした。

会員の皆様にとっては「至らぬ幹事」でしたが、暖かいお声をかけていただき、私の「一年間やり切ったナ」という思いで一杯でございます。ありがとうございました。

●野尻会長～今年度の活動方針は「ロータリーを知り、その魅力を伝え、奉仕の輪を広げよう」というスローガンの下、活動を行いました。

まず、「ロータリーの魅力を伝える」ということで、年度当初に取り組んだことは、斜里クラブのHP立ち上げでした。会報・広報・雑誌委員会の豊島委員長に構成を考えていただき、斜里RCの取り組みが誰でも閲覧できるよ



うになりました。

更には Face book も例会ごとにアップして、情報発信に努めていただいた豊島委員長には感謝いたします。

また、コロナ禍における例会スタイルもリモートでの参加も可能な体制で臨みました。Zoom での例会は音響などの問題もありましたが、出張でどうしても例会に参加出来ないという会員も遠隔地から出席出来るというメリットもありますので、今後の例会の在り方として検討してみることも必要と考えます。

「奉仕活動」としては、例年「バイクの日」に行っております「交通安全旗波作戦」を今年は趣向を変えて「海外技能実習生」に向けた「交通安全教室」を行いました。最近斜里町でも海外の技能実習生が増えてきた現状を受けて、日本の交通ルールと防犯・防災に関する教室を開くという事も、社会奉仕の一環と考え、JA しれとこ斜里で研修中のベトナム人実習生を対象に行いました。この取り組みももっと多くの企業に声掛けをすれば、多国籍の参加者も多くなると思いますので次年度でも検討してみたいかでしょうか。

また、「ロータリー奉仕デー」には、前浜清掃を行いました。ピンクのポロシャツを着たおじさんたちが斜里町民約 40 名の参加をいただき、ゴミ拾いの結果、軽トラ 3 台分にもなりました。斜里高校の生徒たちも張り切って、廃タイヤから漁網まで回収し、役場の回収場で分別しましたが、鈴木幹事が翌日、役場の職員に「エライ拾ってきましたね」と皮肉を言われたそうでもあります。

そして「親睦活動」では、8 月の「ふれあいタウン」がコロナで中止ということで、折角の日曜日ですから親睦事業をしようということで樽見親睦委員長に相談し、「オンライン家族親睦バスツアー」を企画していただきました。四国の高松を出発し、瀬戸大橋では「瀬戸の花嫁」を半ば強制的に皆さんと歌い、島根県の「石見神楽」を満喫しました。事前に届いたご当地食材の「あかてん」と「のどぐろのほぐし身」を食べながら、昼間っから飲む日本酒は最高でした。

それに味を占めまして、第 2 回目のオンラインツアーは「ローマ・フィレンツェの旅」ということで、海外気分も満喫させていただきました。

また、オンラインと言えば、「年末家族親睦パーティー」であります。コロナ禍ということで、藤苑会場にご家族を交えての宴会は如何なものか？という議論もあり、オンラインで参加する会員には事前に、ご自宅へ会食用オードブルをお届けして、リモートでご自宅と会場をつないで行いました。

印象深いのは、オンラインで参加された村田会員ご夫婦の何気ない自宅での会話が、マイクオンになったままで会場内に筒抜けだったのが笑えて楽しかったです。

更には例年行う「チャリティーオークション」もコロナ禍ということで、社会奉仕委員会の田中委員長が、事前にオークション品を一覧にしたものを会員に配布し、事前入札でチャリティーを行うという画期的な発案で無事、社会福祉協議会、スポーツ協会、斜里高等学校の方に寄付することができました。

そして今年は、新入会員として 4 名の新しい仲間を迎えることができました。窪田会員、富樫会員は前任者の引継ぎで入会してもらいましたし、遠藤会員、吉野会員は JC 時代、共に活動した縁を理由に入会してくれました。入会前にロータリーの夜間例会にオブザーブで招待し、お酒を交えた懇親会の中で会員の皆さんから入会への強い圧力があつたかどうかはこの場では控えさせていただきます。

今年度は昨年度に引き続きコロナ禍の中でどのように例会を行うべきかいろいろと考え、休会だけはなるべくしないよう努めた一年でした。年次の例会数を数えたところ 46 回例会を実施できました。割り返すと月 3~4 回例会ができたという事はまずまずだったのではないかと思います。これも偏に理事、役員、委員長を快く受けていただき、私のわがままにも耳を傾けて一年付き合ってくれた役員の皆様ののおかげと感謝申し上げます。

そして一番わがままを言わせてもらったのが鈴木幹事です。年次計画書の校正段階で何度も何度もやり直しを迫り、重箱の隅をつつく私に対し、嫌な顔一つせず一年間幹事を務めていただきました。

パソコンを使う実務は、ほぼ森田副幹事に丸投げでしたが、自称「足でかせぐ幹事」という自負の通り、会員間との連絡係にはかけがえのない存在でした。

そして副幹事の森田会員には、会員への例会案内・出欠とりまとめ、例会の進行次第の作成から理事会の議事録作成に至るまで、鈴木幹事をサポートしていただきました事に感謝いたします。

クラブ会長という立場で過ごした一年は大変でしたが、それ以上に楽しく過ごせた一年であり、実りある一年でした。

一番勉強になった事は、自分自身ロータリーについて学ばせていただいたことです。「会長の時間」の話しネタ作りに「ロータリーの友」を読み返し、時には三浦副会長の事務所に押しかけ、いろいろとアドバイスを



いただきました。

「ロータリーの友」6月号に「規定審議会とその歴史」について特集されていました。国際ロータリーは時代に合せて規定を見直し、いま DEI に舵を切ろうとしています。これも時世であり、受け入れるべきものでありますが、これまでの「斜里ロータリーの歩み」というものは歴代の諸先輩たちが歩んできた道であり、これからも受け継ぐべきものと思っております。

先週の活動報告例会の中で、三浦副会長は「斜里 RC の新しい芽は確実に成長している」ということをお話しされましたが、その新しい芽も元々は「諸先輩たちが蒔いた種」であります。

我々は、その「斜里ロータリークラブ」という種を、これからも斜里の地に蒔いて育てていく使命があると、会長職を終えて今、強く思います。

いよいよ来月から元木新年度で斜里 RC はスタートします。IM、60周年も先に控えています。「やるときは生真面目に、楽しむときはとことん楽しく」という斜里ロータリークラブ精神をこれからも引き継いで、私も元木次年度をサポートしてまいります。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます、一年間の活動報告とさせていただきます。



7. ニコニコ B O X ~樽見親睦委員長

- ・本人誕生祝～門田会員
- ・武藤会員～出席・プログラム委員長退任
- ・林川会員～退会に際して



8. 出席報告 ~武藤出席・プログラム委員長

- ◎本日出席～34名中26名出席(出席率:76.4%)
- ◎前年度例会出席100%会員は28名でした。新年度第1回例会にて表彰式を行います。



☆ 幹事より次回例会の案内

- ・次回は7/6(水)第2868回例会(産業会館2F) 新年度第1回例会 新前会長、幹事バッチ交換 新前会長木槌引継ぎ 役員、理事、委員長就任式 前年度出席100%会員表彰式



専任しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 国際ロータリーのテーマ
奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

斜里 RC 会長のテーマ
ロータリーを知り、その魅力を伝え、
奉仕の輪を広げよう